

〔 6 〕 地球温暖化対策

6-1 概要

地球温暖化とは、人の活動の拡大により二酸化炭素などの温室効果ガスの大気中の濃度が高まり、地表面の温度が上昇し、その結果として気候の変動が引き起こされることです。

地球温暖化の影響は、海水面の上昇、低地の水没、異常気象の発生などで、地球規模の問題となっています。これは日本においても例外でなく、洪水や干ばつによる食糧の不足、風水害による直接の被害、温暖化に伴いマラリア等疫病の蔓延による健康被害が発生するなど、深刻な事態を引き起こすことが懸念されています。

町では地球温暖化を防止するため、神奈川県地球温暖化防止活動推進員と協働し、二酸化炭素排出量削減のための啓発活動を実施しています。

6-2 啓発活動

(1) エコドライブキャンペーン

神奈川県地球温暖化防止活動推進員と合同で、湘南にのみやふるさとまつりにて、ポスターを掲出し、のぼり旗を掲げ、エコドライブを呼びかけるチラシを配布しました。

実施日	平成28年11月13日（日）
場 所	ラディアン

(2) エコライフにチャレンジ

小学生児童を対象に、夏休みと冬休みに節電やごみの削減など家庭でできるエコ活動のチェックシートを配布し、地球温暖化対策への意識啓発を行いました。

6-3 グリーン購入

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。グリーン購入は、購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていくことが期待されています。

平成13年4月に「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）」が施行されたことを受け、町では平成15年8月「二宮町グリーン購入基本方針」を策定し、環境に配慮した物品を購入するよう努めています。

6-4 公共施設の新エネルギー活用状況

エネルギー区分	施設名称	所在地	設置年度	設置台数	発電容量合計	利用方法等
太陽光発電	(旧)IT ふれあい館(みちる愛児園)	二宮 823	平成14年	1	5.01kw	施設の稼働電力として利用、余剰電力は売電
クリーンエネルギー自動車	ハイブリッド自動車	—	平成14年	2	—	公用車利用
太陽光発電	二宮町ふたみ記念館	山西 1953-1	平成23年	1	4.80kw	施設の稼働電力として利用、余剰電力は売電
太陽光発電	二宮町ウッドチップセンター	緑が丘 1-12-2	平成27年	1	5.50kw	施設の稼働電力として利用
太陽光発電	二宮小学校	二宮 872-1	平成27年	1	11.52kw	施設の稼働電力として利用

6-5 太陽光発電システム設置工事助成

新エネルギー導入を推進するため、平成21年度から住宅用太陽光発電システムを自宅に設置する方に、設置費用の一部を補助する「住宅用太陽光発電システム設置費補助事業」を行っていましたが、この事業は平成24年度で終了しました。

平成25年度から、太陽光発電システム設置工事は、住環境の向上と地域経済の活性化を目的とした「住宅リフォーム助成制度」の助成対象になりました。

助成対象 町内業者を利用して住宅をリフォームする方

募集件数 50件

助成件数 50件（太陽光発電システム設置工事 助成件数 0件）

助成金額 20万円以上のリフォームで一律5万円